

# グリーフ(悲嘆)ケア講座 ～死別の悲しみに寄り添うには？

だれの人生にも必ず訪れる大切な人との別れ《死別体験》  
悲しみの中にいる人とどのようにかかわっていったら良いのでしょうか？  
悲しみを乗り越えようとしている人への寄り添い方を学びます

日時：平成25年11月30日(土) 13:30～15:30(質疑応答含む)

内容：裏面参照

対象：悲しみの現場に携わる仕事をされている方、  
グリーフケアに興味がある方、グリーフケアを勉強している方

会場：真生会館(JR信濃町駅から徒歩1分) \*裏面の地図参照

会費：無料

定員：限定 40名 \*定員になり次第締切(お早目にお申込み下さい)

講師：鈴木 康明(すずき やすあき) 氏



1956年生まれ 東京福祉大学・福祉大学院 教授。

早稲田大学教育学部教育学科教育学専修、筑波大学大学院教育研究科カウンセリングコースにて学ぶ(教育学修士)。東京外国語大学助教授、国土館大学教授を経て2008年4月より現職。

専門は、死別ケアと芸術療法。日本カウンセリング学会理事、認定カウンセラー会理事(危機支援部会長)、芸術療法士。

主な著書：

『生と死から学ぶ』北大路書房、『生と死から学ぶいのちの教育』(至文堂)、『いのちの本』学研、『死別体験者のためのサポート活動』(ターミナルケアVol.13 No. 5)三輪書店。

お申込方法：(お振込先は、裏面をご覧ください。)

① 裏面の申込み用紙にご記入の上、ファックスまたはご郵送で。

② メールアドレス:h.otsuka@trinitynippon.comより。

ご質問・お問合せ先： 大塚 h.otsuka@trinitynippon.com

## 講座の内容

人は“ひとり”では存在できない切ないまでに関係性の生き物です。  
にもかかわらず、大切な人との関係が途絶えてしまったら、そして  
それが死による永遠の別れであったなら、残された方はどのように  
生きていったらよいのでしょうか。

本講座は、死別の悲しみで苦しむ方へのかかわりを、

- ①遺族とは、
- ②個別性と共通性
- ③悲嘆と悲哀
- ④痛み
- ⑤表現
- ⑥かかわる側の気づきと限界、などを中心に考えます。



JR総武線 信濃町駅

JR中央線は四谷か新宿で総武線に乗り換え

申込用紙郵送／ファックス先：

トリニティ心理サポートセンター

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-58

小林ビル 602

Tel&Fax 03-6310-5165

# 《グリーフ(悲嘆)ケア講座》 ～死別の悲しみに寄り添うには？ 参加申込書

申込日： 年 月 日

ふりがな  
ご芳名

ご連絡先

会社名

メールアドレス

FAX 03-6310-5165